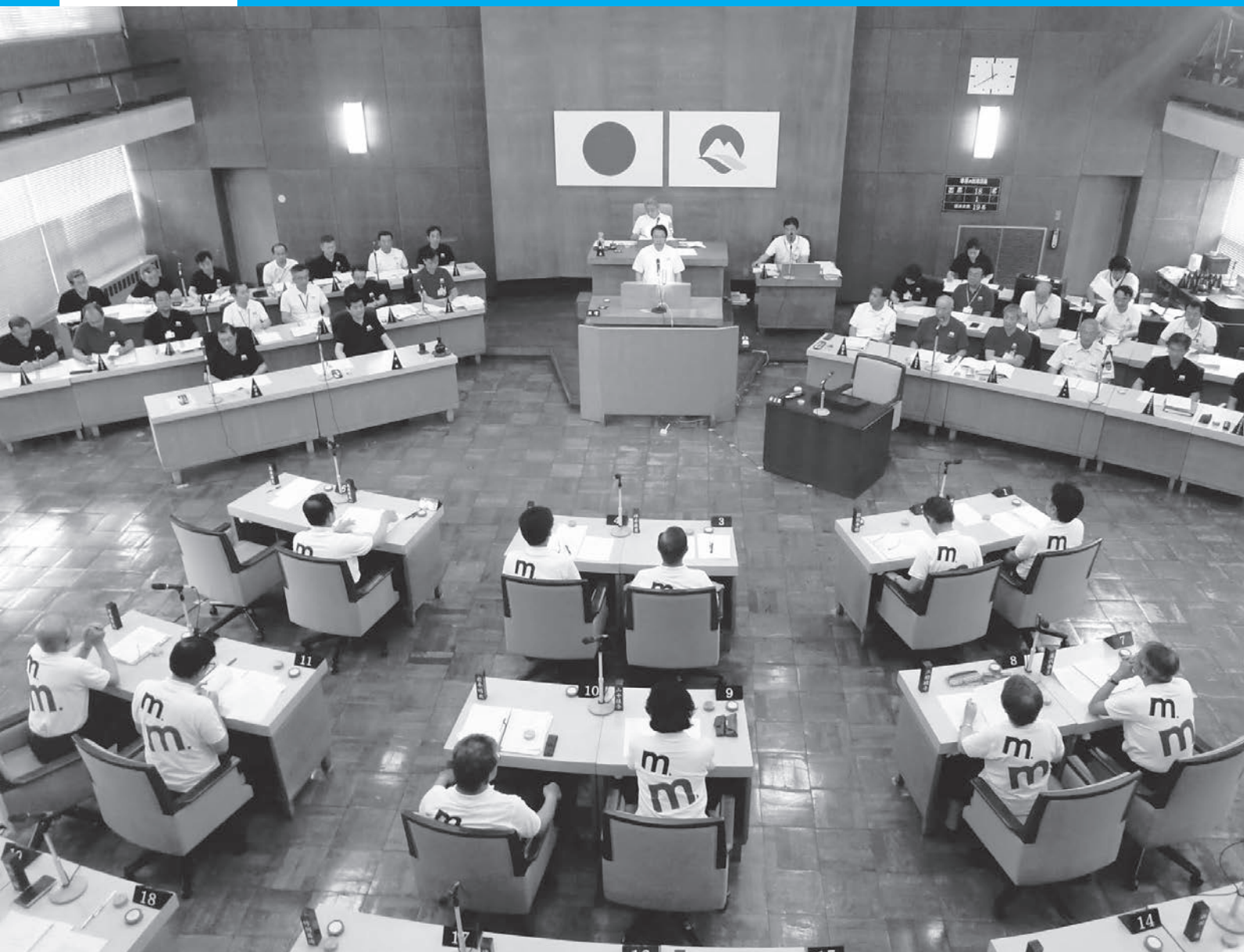




交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第13号 平成26年(2014年) 9月1日発行



ジオパークポロシャツ着用の7月臨時会

主な内容

○ 審議された議案等	2 ~ 3
○ 議案の内容	4
○ 美祢市議会の構成が新しくなりました	5
○ 一般質問	6 ~ 11
○ 委員会報告	12 ~ 13
○ 第1回議会報告会について	14
○ 懲罰動議・解散動議・特別委員会の設置	15
○ 編集後記	16

平成26年第2回(5月)美祢市議会臨時会 5月22日~5月23日

第2回臨時会は5月22日(木)に開会し、美祢市税条例の一部改正など専決処分承認について4件、平成26年度観光事業特別会計などの補正予算2件、合わせて議案6件が上程され、そのうち、専決処分4件については、即決議案として原案のとおり承認されました。また、補正予算2件については、教育民生建設観光委員会に付託して、審議を行い、再開後の本会議において、討論・採決の結果、原案のとおり可決しました。

次に、美祢市議会委員会条例の一部改正についてを議題とし、質疑・討論を行い、採決の結果、原案のとおり可決しました。

その後の議事日程では、任期満了となる常任委員会及び議会運営委員会委員の選任など、数件の付議事件がありましたが、会期を翌日23日(金)まで延長し、本会議を延会しました。

5月23日(金)、正・副議長から辞職願が提出されたため、本会議において辞職を許可したのち、正・副議長選挙を指名推薦により行いました。その結果、議長は引き続き秋山議員に、副議長には新たに岡山議員が就任しました。その後、前日から予定されていた議事日程を全て終了し、臨時会を閉会しました。

なお、委員会等の構成は(5ページ)に掲載していますので、ご覧ください。

平成26年第2回(6月)美祢市議会定例会 6月10日~6月30日

第2回定例会は6月10日(火)に開会し、平成25年度一般会計補正予算の繰越しについてなどの報告5件、平成26年度一般会計補正予算、美祢市税条例等の一部改正についてなど議案4件が上程されました。

各議案は、教育経済委員会(6月16日)、総務民生委員会(6月17日)、予算委員会(6月18日)にそれぞれ付託し、集中審議されました。

本会議最終日の6月26日(木)、議員の発言について懲罰動議が提出されたことに伴い、懲罰事案の審議を行うため、特別委員会を設置し、会期を6月27日(金)までの1日間延長しました。

さらに、6月27日(金)に美祢市議会解散に関する動議が提出されたことで、それを慎重に審議するため、6月30日(月)までの3日間、会期を延長しました。

初日に上程された各議案については、6月30日(月)本会議において、討論・採決が行われ、原案のとおり可決しました。その後、解散動議について討論が行われ、表決の結果、賛成少数で否決されました。これにより、すべての議事日程を終了し、同日閉会しました。

(懲罰動議及び解散動議に関しては、15ページをご覧ください。)

平成26年第3回(7月)美祢市議会臨時会 7月15日

第3回臨時会は7月15日(火)に開会し、平成26年度一般会計補正予算(第2号)の議案1件が上程されました。議案は同日の予算委員会に付託し、集中審議を行いました。その後、本会議において討論・採決が行われ、本議案について原案のとおり可決しました。

次に、特別委員会の設置についてを議題とし、審議された結果、今後の議会のあり方などを検討する議会改革推進特別委員会を設置することに決しました。これにより、すべての議事日程を終了し、閉会しました。

審議された議案等

平成26年第2回(5月)美祢市議会定例会(5月22日～5月23日)

議案第1号	専決処分の承認について(美祢市税条例の一部改正について)	承認
議案第2号	専決処分の承認について(美祢市都市計画税条例の一部改正について)	承認
議案第3号	専決処分の承認について(美祢市企業立地促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について)	承認
議案第4号	専決処分の承認について(美祢市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認
議案第5号	平成26年度美祢市観光事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第6号	平成26年度美祢市住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議員提出議案第1号	美祢市議会委員会条例の一部改正について	可決

平成26年第2回(6月)美祢市議会定例会(6月10日～6月30日)

報告第1号	損害賠償の額を定めることに関する専決処分について	承認
報告第2号	平成25年度美祢市一般会計予算の繰越しについて	承認
報告第3号	平成25年度美祢市水道事業会計予算の繰越しについて	承認
報告第4号	平成25年度美祢観光開発株式会社の事業報告について	承認
報告第5号	平成25年度美祢農林開発株式会社の事業報告について	承認
議案第1号	平成26年度美祢市一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第2号	美祢市税条例等の一部改正について	可決
議案第3号	美祢市鳳鳴地域交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について	可決
議案第4号	美祢市火災予防条例の一部改正について	可決
議案第5号	美祢市農業委員会委員の推薦について	同意
	議員坪井康男君に対する懲罰動議について	議長裁決 可決
	美祢市議会解散に関する動議について	賛成少数 否決

平成26年第3回(7月)美祢市議会臨時会(7月15日)

議案第1号	平成26年度美祢市一般会計補正予算(第2号)	可決
-------	------------------------	----

報告事項について

○平成25年度美祢市一般会計予算の繰越しについて

障害者自立支援及び児童福祉の電算システム改修経費や電気自動車の充電器設置経費など4,916万4,080円を平成26年度に繰り越すものです。

○平成25年度美祢市水道事業会計予算の繰越しについて

美東・秋芳簡易水道変更認可設計業務の委託料、1,438万5,000円を平成26年度に繰り越すものです。

○平成25年度美祢観光開発株式会社の事業報告について

可能な限りのコスト削減も行われましたが、総売上額は、対前年度比93.19%の1億8,008万2,034円となり、859万6,194円の純損失が出ています。

○平成25年度美祢農林開発株式会社の事業報告について

平成25年度には「カップサラダ事業」に着手し、総売上額は対前年度比271.8%の5,120万1,618円となりましたが、68万2,440円の純損失が出ています。

平成26年度予算の補正について

○平成26年度美祢市一般会計補正予算（第1号）

定住人口の増加を図る、Mineワクワク住マイル事業の創設や、カルストクリーンセンターの一部設備更新、その他緊急に必要な経費について、1億1,380万1,000円を追加するものです。

条例の一部改正について

○美祢市税条例等の一部改正について

地方税法の一部改正に伴い、法人市民税法人税割は税率を引下げ、軽自動車税、原付及び二輪車は税率を引上げるため、条例等の一部を改正するものです。

○美祢市火災予防条例の一部改正について

昨年発生した福知山花火大会火災を踏まえ、消防法施行令が一部改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

条例の制定について

○美祢市鳳鳴地域交流センターの設置及び管理に関する条例の制定について

閉校となった旧鳳鳴小学校校舎を活用し、地域活性化に資する施設とするため、新たに条例を制定するものです。

その他審議事項について

○美祢市農業委員会委員の推薦について

下記の4名を議会より推薦しました。

- 安部 好恵 さん
- 山中 佳子 議員
- 三好 睦子 議員
- 馬屋原 眞一 議員

カップサラダ事業 作業風景



美祢市鳳鳴地域交流センター（旧鳳鳴小学校）

美祢市議会の構成が新しくなりました

◎委員長 ○副委員長 平成 26 年 8 月 1 日

役 職		氏 名	人数
議 長		秋山 哲朗	
副 議 長		岡山 隆	
常 任 委 員 会	総務民生委員会	◎河本 芳久 ○三好 睦子 ・竹岡 昌治 ・秋山 哲朗 ・西岡 晃隆 ・山中 佳子 ・高木 法生 ・岡山 隆 ・馬屋原 眞一	9
	教育経済委員会	◎萬代 泰生 ○猶野 智和 ・徳並 伍朗 ・荒山 光広 ・下井 克己 ・岩本 明央 ・俵 薫 ・坪井 康男 ・秋枝 秀稔	9
	予 算 委 員 会	◎高木 法生 ○下井 克己 ・竹岡 昌治 ・徳並 伍朗 ・荒山 光広 ・西岡 晃 ・河本 芳久 ・岩本 明央 ・山中 佳子 ・三好 睦子 ・萬代 泰生 ・馬屋原 眞一 ・俵 薫 ・坪井 康男 ・秋枝 秀稔 ・猶野 智和	16
特 別 委 員 会	議会改革推進 特別委員会	◎荒山 光広 ○馬屋原 眞一 ・竹岡 昌治 ・徳並 伍朗 ・西岡 晃 ・河本 芳久 ・下井 克己 ・岩本 明央 ・山中 佳子 ・三好 睦子 ・萬代 泰生 ・高木 法生 ・岡山 隆 ・俵 薫 ・坪井 康男 ・秋枝 秀稔 ・猶野 智和	17
議会運営委員会		◎荒山 光広 ○坪井 康男 ・西岡 晃 ・河本 芳久 ・三好 睦子 ・萬代 泰生 ・高木 法生 ・岡山 隆 ・馬屋原 眞一	9
議員の中から選出 された監査委員		・馬屋原 眞一	1
美祢市萩市 競艇組合議会		・秋山 哲朗 ・徳並 伍朗 ・萬代 泰生	3



(新国会)
たかぎ のりお
高木 法生 議員

1 公共施設の管理・運営について

問 本市の公共施設は、築後30年以上経過するものが全体の42%あり、老朽化等の対応に多額の費用が必要と思われます。公共施設等の現況及び将来の見通しについてお尋ねします。

答 本市においては、老朽化した公共施設を多く抱えており、将来、大規模改修や施設の建て替えの必要も生じることが予想されます。

今後、美祢市公共施設あり方検討委員会において、施設の現状把握や必要性の評価、また、まちづくりの観点からも分析していただき、公共施設の適正規模・適正配置の項目を盛り込んだ、公共施設等総合管理計画の素案を策定していただきます。

問 将来的なまちづくりを視点に考えると大変な費用を要します。PFIの活用について、どのようにお考えでしょうか。

答 国の経済財政諮問会議において、公共工事の増額方針が確認されており、法による新たなルールづくりが活発になっています。PFIの活用についても、国の方針や計画が決まれば、十分検討していく予定です。

2 東の玄関口の集客力アップについて

問 小郡萩道路の沿線は、東の玄関口として、道の駅みとう、さんれいしゃ金麗社、ながのぼり長登銅山など、重要な観光スポットの宝庫です。集客力アップのために、誘導サインの設置や、道の駅敷地内へのやぐら、のぼり等の設置はできないかお伺いします。

答 小郡萩道路沿線に誘導サインを設置することについては、国交省が所管する道

路標識等に関する命令の一部改正により、道の駅等への案内表示が対象となったため、県と協議を進めています。

また、道の駅みとう敷地内にのぼり、やぐら等を設置することについても、県の支援策を含めて協議してまいります。

3 衛生行政について

問 市内の廃棄物処理場における、不燃物搬入の一元化について、お考えをお聞かせください。

答 新市の一体感や市民の利便性の向上から、どの地域からも利用できることが理想と考えます。

今後、ごみ処理施設や保管施設周辺の方々と丁寧に協議を重ね、前向きに検討してまいります。

問 子宮頸がんワクチンの副作用の発生実態についてお尋ねします。

答 本市における、平成25年度のワクチン接種者数は23人で、平成23年度からの通算では409人にワクチン接種を実施しています。副作用に関しては、現在のところ報告を受けていません。

4 病院行政について

問 医師及び看護師確保の現状と課題についてお伺いします。

答 常勤医師は合併時の18人から5人減の13人となり、看護師についても、採用人数が募集人数に毎年満たない状況です。

医師不足に対する取組みとしては、山口大学医学部への医師派遣要請や自治医科大学への要請等を行ってまいります。

また、看護師確保については、県内看護師養成学校等への訪問、平成24年度に創設した看護師奨学金貸付制度の周知を行うなど、医師と同様にインターネットによる募集にも取り組んでまいります。



(友善会)
つばい やすお
坪井 康男 議員

1 犯罪被害者等支援条例制定への取り組みについて

問 美祢市においては、平成20年に新市が誕生して以来、その「総合計画」の具体的施策の第一番目に《安全・安心の確保》を掲げ、市民が『夢・希望・誇り』を持って暮せる交流拠点都市の実現を目指して、関係者がそれぞれの立場、持ち場で、尽力されています。

この目的達成のために、新市発足と同時の平成20年3月に「美祢市安全・安心まちづくり条例」が制定され、市、市民、事業者の責務が定められています。

しかし、この条例は、抽象的な訓示規定もしくはスローガンでしかなく、【安全・安心のまちづくり】に具体的に貢献できる条例の制定が求められるところです。

そこで、平成17年4月1日に施行された国の「犯罪被害者等基本法」の中で、犯罪に巻き込まれた人や家族に対して支援を行うことは、自治体の責務だと定められていますが、市長はこの法律に沿った条例を制定するお考えがあるかどうか、お尋ねします。

答 「犯罪被害者等基本法」の制定に当たっては、安全で安心して暮らせる社会を実現することは、国民全ての願いであると共に、国の重要な責務であり、国においては犯罪等を抑止するためのたゆまない努力が重ねられてまいりました。

しかしながら、近年様々な犯罪等が後を絶たず、それらに巻き込まれた犯罪被害者等の多くは十分な支援を受けられず、社会において孤立することを余儀なくされてきました。

さらに、犯罪等による直接的な被害に止まらず、その後も二次的な被害に苦しめられること

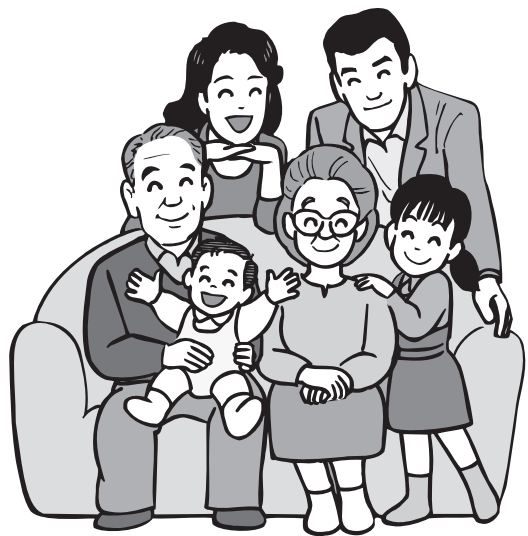
も少なくないと言われてしています。

もとより、犯罪等による被害について、第一義的に責任を負うのは加害者ですが、犯罪等を抑止し、犯罪被害者等の声に耳を傾けていく必要があると考えています。

美祢市における犯罪被害者等支援条例の制定に向けた具体的検討については、昨年10月に美祢警察署長から条例制定の要望がありました。これを受けて、市民福祉部長を通じ、担当課において現状を把握し、検討するよう指示をしました。

また、本年1月31日に美祢警察署で開催された美祢地区被害者支援連絡協議会の内容、及び当日配付された警察県民課作成の犯罪被害者等支援条例の制定に向けた資料の内容についても報告を受けています。

以上のことから、犯罪被害者等支援条例の制定については、現在のところ、山口県内自治体13市の中で、唯一防府市が条例を制定されているだけですので、今後、他市の状況も参考にしながら引き続き検討したいと考えています。





(日本共産党)
みよし むつこ 議員

1 市民の移動手段について

問 本市では、障がい者(1級～3級)の方に福祉タクシー利用券を48枚交付していますが、枚数が不足される方もいます。利用券枚数を増やすことはできないでしょうか。

答 福祉タクシー利用券枚数の過不足については、個人差があります。現行の利用枚数を有効に活用されることが重要と考えていますので、ご理解いただきたいと思います。

問 福祉タクシー利用券は、1回の乗車で1枚しか利用できず、運賃が高額な場合は大きな負担になります。利用券を複数枚使えるようにするなど、改善はできないでしょうか。

答 複数枚利用については、実態や需要を考慮のうえ判断し、適切な時期に実施したいと考えています。

問 障害者手帳を提示するとタクシー代が1割引になりますが、福祉タクシー利用券と併せて利用できるのでしょうか。

答 福祉タクシー利用券は、市の単独事業で、その費用は市が補助しています。障害者手帳の提示による運賃の割引は全国的な制度ですので、同時利用は可能です。

問 75歳以上の高齢者や要介護認定3以上の方にもタクシー利用の割引制度を適用できませんか。

答 公共交通空白地にお住まいの高齢者、及び要介護認定を受けている方のニーズ等を把握し、財政負担も含め事業実施の検討をしたいと思います。

問 美東交番での免許の更新業務が4月から廃止されました。秋芳・美東地域は山間地で、車なしでは生活も農業もできません。こうした状況を説明し、免許の更新業務を美東交番で再開できるように、市長から関係機関に要望できないでしょうか。

答 廃止の理由を美祢警察署に問い合わせたところ、更新人数の減少、また、優良運転者講習がビデオ研修から講師による研修に変更されたため、講師の確保が困難との回答でしたので、ご理解いただきたいと思います。

問 真長田、赤郷地区から美祢方面への通学便を含めたアンモナイト号の増便はできないでしょうか。

答 既存バス路線との競合等、既得権の問題もあるため、現在運行している路線バスとアンモナイト号を組み合わせでご利用いただきたいと思います。今後も公共交通の利便性については、バス事業者と協議を行い、整備を進めたいと考えています。

2 農家の草刈り作業の軽減のための方策について

問 高齢化が進む農業従事者の草刈り作業を軽減するため、高土手等に芝桜を植えてはいかがでしょうか。全国的にはこのような緑化作業に対し助成金制度を導入した自治体もあります。本市でも、助成金制度をつくれませんか。

答 芝桜を植えるための費用や、それを管理する農家の負担を考えると、一概に作業の軽減につながるとは言えないと考えています。

草刈り作業に対する助成については、国の交付金制度や本市単独の報奨金制度もありますので、それらをご活用いただきたいと思います。



(公明党)

おかやま
岡山 たかし
隆 議員

1

子どもを生き育てやすいまちづくりの取り組みに関して

問

美祢市では3歳未満児までの医療費は無料、小学校入学までは所得制限があり2割負担、小中学生は3割負担です。各自治体は、少子化対策の一環として、小児医療費の助成対象年齢を競うように拡大しています。子育て家庭の経済的負担軽減のため、小学校卒業までの医療費を無料にする助成制度の導入に関して、市長はどのようにお考えでしょうか。

答

市内に居住されている3歳未満の乳幼児に対して、市単独の制度によって、医療保険の自己負担額を全額助成しています。財政的に厳しい状況ではありますが、各自治体があるゆる手を打ってくるのが予想されることから、子育てしやすいまちづくりの創造に向け、この医療費助成制度における対象年齢の拡大についても、引き続き努力してまいります。

2

美祢市民の医療費適正化に向けた取り組みに関して

問

美祢市の人口は26,900人弱(4月末現在)、国民健康保険の加入者は約6,000人(人口の22%)を占めています。医療費適正化への取り組みとして、重複受診、頻回受診、薬剤重複服用者に対する医療費適正受診の推進、並びに市民の健康寿命を伸ばすための生活習慣病予防対策の取り組みについて、お尋ねします。

答

美祢市の国民健康保険では、一人当たりの医療費が年間46万円と非常に高い水準です。医療費の適正化については、県の計画に基づき、全世帯に年6回の医療費通知の送付、ジェネリック医薬品の意思表示カードの配布、

重複受診や頻回受診されている被保険者への保健師による訪問指導を実施しています。

今後も、医療機関等との連携を深め、医療費の適正化をより推進してまいります。

また、市の生活習慣病予防対策については、「いきいき健康みね21」の計画に沿って事業を実施しています。具体的には、食に関する健康講座を年3回、市内各地で開催される地区サロンに年84回出向き、高齢者を中心に健康相談等を実施しています。

今後も、福祉、医療関係部署、地区民生委員、企業等の力添えを得ながら対応してまいります。

3

市民の命を守る消防施設への耐震化対策に関して

問

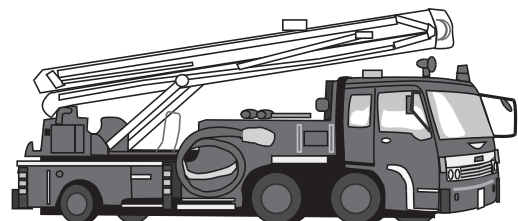
消防施設の耐震化は、全国平均82%に対して、山口県は68%を切っており、ワースト10に入っています。本市の消防施設に関する耐震化対策並びに消防車両とデジタル無線の確保についてお尋ねします。

答

消防本部庁舎の1階部分は、耐震性目標値を超えています。2階部分は目標値を若干下回る評価となっています。しかし、総合評価では、地震発生時において直ちに崩壊することはないとの評価を得ています。

また現在、美祢市内からの119番通報は、最新の耐震化対策が講じられた高機能消防指令センター(下関市)で受報しています。

この共同指令業務の運用により、広域的な消防運用が可能となり、迅速・精強な消防力で対応できる事など、通信司令機能の耐震化も図っているところです。





(純政会)
あきえだ ひでとし
秋枝 秀稔 議員

1 地籍調査事業の早期完了について

問 地籍調査は秋芳地域が完了し、美祢地域と美東地域の進捗率は25%前後です。今年約300haの調査予算ですが、未実施面積は25,500haあり、市街地の調査進捗状況を考慮すると、おそらく完了までには100年以上かかるかと推測します。調査面積の拡大は予算と職員数にかかっています。

そこでまず、地籍調査の意義についてお尋ねします。

答 正確な土地情報が得られるため、円滑な土地取引が図れること、また、まちづくりの基礎データとして利用できることなど、大変意義深い事業であると考えています。

問 人の記憶に依存する調査であり、土地の境界に詳しい方が健在の内に実施することで、調査実施能率が良くなり、社会的費用も安価となります。調査面積の拡大はできないでしょうか。

答 補助事業増の要望を行い、調査の早期終了を図ります。

問 担当職員数の増員については、いかがお考えでしょうか。

答 業務量の分析を行い、検討していきます。

2 有害鳥獣対策について

問 野猿の生息数は増えているようですが、銃猟をする猟友会員は減少しています。

最近の捕獲状況について、お伺いします。

答 平成23年度が4頭、24年度23頭、25年度が7頭となっています。目撃情報については、年々増加傾向にあります。

問 県が中山間応援隊を編成され、萩市は職員で野猿駆除隊の編成など対策を進めています。美祢市の今後の対策についてお伺いします。

答 萩市の活動実績等を参考に検討したいと思います。

問 下関市が野生鳥獣肉の加工場を設置していますが、美祢市から搬入することについて許可が期待できません。衛生面に配慮した、簡易な野生鳥獣処理施設を市内数か所に設置できませんか。

答 食肉加工処理施設については、継続的かつ安定的な運営や、安全性確保の問題、販売の問題など、課題がありますので、まずはそこから検討したいと考えています。

3 市立病院事業の経営状況について

問 2つの公立病院は、地域住民に必要なとされる地域医療を確保するためにも、経営の健全化を図ることが重要なことと思います。そこで、年度ごとの一般会計からの繰り入れ状況と、これからの経営見通しについてお伺いします。

答 年度で多少の増減はあるものの、おおむね7億円前後の繰り入れです。常勤医師の減少など問題が多く、厳しい経営状況ですが、持続可能な経営に鋭意努めてまいります。

問 地域医療を確保するため、指定管理等の経営形態の見直しなど考えられませんか。

答 本市病院事業は、平成22年度から地方公営企業法の全部適用を受け、経営の健全化に向けた取り組みを推進してきました。今後も引き続き安定的かつ持続可能な経営に導くため、他自治体の事例の調査・研究など進めてまいります。



(政和会)

たけおかまさはる
竹岡昌治 議員

1 美祢漫画王国による市の活性化はできないか

問 漫画発祥の地は日本です。美祢市も漫画文化を利用した活性化を進めてはいかがでしょうか。

答 鳥取県境港市では、ゲゲゲの鬼太郎で有名な水木しげるロードを売り出し、莫大な方々が来られるようになったと聞いています。

日本の漫画やアニメは世界のトップといわれており、日本を発信する大きな武器となっています。また、日本国内においても、漫画が持つ力は非常に大きなものと実感しています。

美祢市を発信するうえで、漫画やアニメを活用することも、本格的に考えてみたいという思いもあります。

問 美祢市出身の漫画家^{そのばりょう}苑場凌氏の協力を求め観光地、史跡、伝説の説明板を漫画チックにして、観る人が楽しく記憶を持って帰ることができるようにしてはいかがでしょうか。

答 苑場凌さんは伊佐小学校を卒業されて美祢市でお育ちになられています。作品には美祢市に対する思いが深く、漫画家としても非常に力量のある方だと認識しています。

案内看板に大事なものは、来られた方に正確な情報をわかりやすくお伝えすることです。さらに、それを興味深く、おもしろくすれば、より印象に残ります。

漫画には、すごい力があると思っていますので、案内看板だけではなく、HPなどにもアニメを介在させて情報発信すればおもしろいと思います。

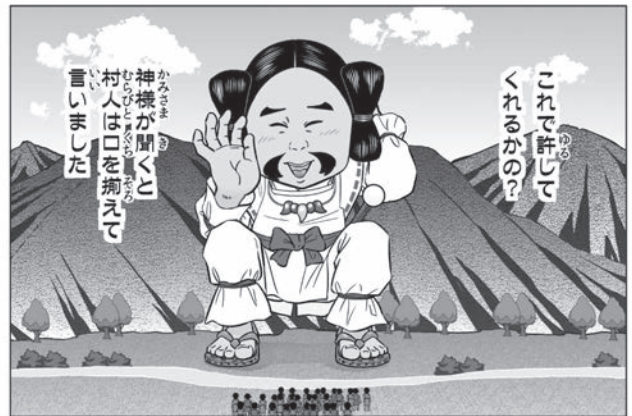
問 大田絵堂の戦いが来年150周年を迎えますが、これらを漫画化してアピールすることはできないかお伺いします。

答 来年はNHKの大河ドラマ「花燃ゆ」が放送され、オール長州で山口県を売り出して行こうという機運が高まっています。

その中で、大田絵堂の戦いは本当に大事な史実です。この好機を逃さないためにも苑場凌氏のお力添えを賜りたいと考えています。

問 苑場凌氏を美祢市観光大使に任命されるお考えはありますか。

答 苑場さんをお願いして、ふるさと交流大使になっていただきたいと考えています。



大岩郷物語 (苑場凌氏作)

委員会報告

教育経済委員会

平成26年6月16日

問 おもてなしの人づくり・おもてなし認定事業の具体的な内容をお尋ねします。

答 観光に携わる市職員、観光アテンダント、タクシー事業者、秋芳洞商店会の方々を重点対象者として、ワークショップや研修などを開催し、おもてなし力の向上を図りたいと考えています。

問 秋吉台リフレッシュパーク内のトロン温泉は、ボイラーや熱交換機が故障しているため、利用者から苦情が寄せられています。いつ回復措置が行われるのでしょうか。

答 現在、指定管理者と経営全体の事を協議しており、その中で、料金の値引き問題やボイラー、熱交換機の修理時期等について検討しています。



大田そん碑(金麗社)



奇兵隊に扮した観光協会職員

問 明治維新150周年を記念して、長州藩との関わりを観光や企画に取り入れてはどうか。

答 県は明治維新150周年や大河ドラマ「花燃ゆ」を迎えるに当たって「やまぐち幕末維新プロジェクト」を立ち上げ推進しています。

本市では、今年10月に美東町を中心としたフォトゲイニングを行い、来年3月には大田・絵堂戦役150周年の記念式典や講演会を開催する予定です。

また、観光協会では、役員が明治維新の奇兵隊に扮して、観光誘致や情報発信に努めています。

問 美祿市税条例等の一部改正により、**税収がどのくらい変動しますか。**

答 法人市民税の法人税割については、税率が14.7%から12.1%に引き下げられることによって、前年度に比べ3,000万円の減収を見込んでいます。軽自動車税等については、新税率の適用により、3,700万円程度の増収を見込んでいます。

問 美祿市火災予防条例の一部改正により、**屋外での催しをする際には消火器の準備が必要とのことですが、基準はありますか。**

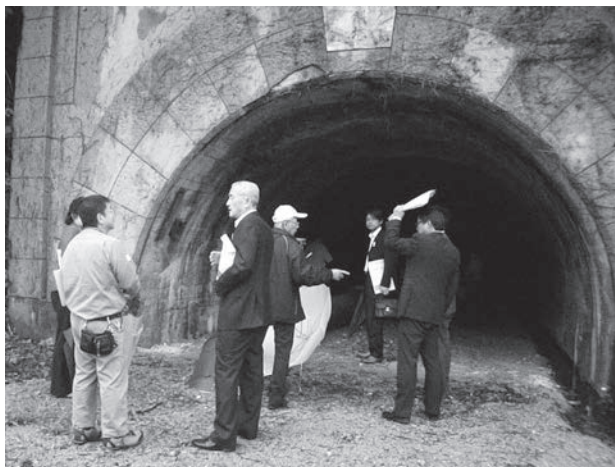
答 露店等において移動式コンロ、ストーブ、バーナーといった火気器具等を使用する場合、消火器の設置が必要になります。

問 **火災予防上必要な業務に関する計画の提出について、市内ではどのような催しが対象になりますか。**

答 露店等の数が50店舗を超える規模を対象に考えており、市内では秋吉台観光まつり花火大会を指定するよう計画しています。

●現地調査を行いました

麦川地区における坑内水の異臭問題について、6月18日(水)に市と事業所の担当者から調査資料の内容説明を受け、現地調査を実施いたしましたのでご報告いたします。



麦川地区の異臭問題にかかる現地調査

問 カルストクリーンセンターの施設について、**建設後の経過年数及び圧縮成型機の修理の頻度についてお尋ねします。**

答 施設は、合併前の平成11年4月から稼働し、15年経過しています。また、圧縮成型機については、オーバーホールをする頻度が年々高くなっており、限界にきている状況です。

問 **今回補正の圧縮梱包機こんぼうの耐用年数と圧縮梱包機購入による経費削減額についてお尋ねします。**

答 耐用年数は最低15年を見込んでいます。また、経費削減額は15年で1億3,000万円程度になると試算しています。

問 **商工費のプレミア付き商品券の発行数についてお尋ねします。**

答 1セット1万1,000円分の商品券を1万円で2万セット販売するものです。

平成26年度 第1回議会報告会について

平成26年6月16日(月)秋吉公民館、17日(火)真長田公民館、18日(水)美祢農村勤労福祉センターの3会場で議会報告会を開催し、市民69名が参加されました。主な質問は次のとおりです。

問 旧秋芳町にあった有線電話の仕組みを、高齢者を支えていくという観点から復活させていただけませんか。

答 有線電話については難しいとは思いますが、高齢者に対する施策は議会でも議論し、市に提案していきたいと思えます。

問 秋芳町南部地域の簡易水道の軟水化のその後の動きはどのようになっているでしょうか。

答 北部地域から水を引くブレンド方式か水源地に軟水化装置を設置するペレット方式かということで、今後早い時期に方向性が出ると思えます。

問 議長選挙が一夜かかったという新聞報道がありました。議会はしっかりしてほしいと思えます。

答 しっかり厳粛に受け止め議会運営をしていきたいと思えます。

問 人口定住対策と小中学校の統廃合問題、保育所の適正配置は総合的に検討、推進することが大事だと思います。また農振地域の指定を見直して宅地転用を可能とし、若者の市内定住の促進の一助にできないでしょうか。

答 小中学校の統廃合については、教育委員会が各地で説明会を行い、保護者や地域住民の意見集約を行っています。

保育所の適正配置や農振地域指定の見直しについては、今後の検討課題とさせていただきます。

問 美祢観光開発(株)の赤字要因と、抜本的な改革について議会で検討してほしいと思えます。

答 現在、美祢観光開発(株)の会社内の経営改善検討委員会及び外部の経営コンサル

タントによる経営改善計画の立案が進められていますので、その結果が出次第、議会の政策討論会で議論し、方向性を打ち出していきます。

問 美祢線の於福駅と厚保駅はきれいになりましたが、重安駅のトイレは使えません。その他の駅も徐々にきれいになるという計画はあるのでしょうか。

答 美祢線の利用促進という面から2カ所を改修しましたが、その他の駅のトイレのことも踏まえて、執行部に申し伝えたいと思えます。

問 PM2.5の注意警戒情報は美祢市ではどのように観測し、市民に知らせているのでしょうか。

答 市役所の屋上に観測する基地局があり、一定の基準値を超えた場合にホームページに注意喚起をする情報を出しています。

また、MYTでも文字放送しています。

問 美祢線の利用促進をするためには、もっと人を増やして知恵を出し合っていくことが必要だと思いますが。

答 9月27日にランタンフェスティバルが開催されますが、美祢線を利用してこられた方に対する特典を青年会議所が企画していると聞いています。一人一人の意識が美祢線の利用につながっていくと思えます。



議員坪井康男君に対する懲罰動議

平成26年第2回(6月)美祢市議会定例会本会議(平成26年6月26日(木)開催)において、坪井康男議員が秋山議長に対して侮辱的及び脅迫的な発言、並びに竹岡議員及び村田市長の私生活にわたる言論を行ったことを理由として、同日、政和会(馬屋原眞一会長)の4名から地方自治法第135条第2項及び美祢市議会会議規則第151条第1項の規定により「議員坪井康男君に対する懲罰動議」が提出されました。

これにより懲罰特別委員会(荒山光広委員長)が設置され、同日夜から27日未明にかけて審議が行われ、「議事がたびたび中断しており、スムーズな議会運営を取り戻すため」などの賛成意見や「やりとりの中で反論で、懲罰に値しない」といった反対意見が出ました。

採決の結果、賛成・反対同数となり、委員長の裁決により、懲罰(公開の場での陳謝)を科すことに決しました。このことについては、その後の本会議で懲罰特別委員長から報告され、討論・採決の結果、委員会と同様に賛成・反対が同数であったため、議長の裁決により懲罰を科すことを議決しました。

これにより、議長が懲罰の宣告を行い、陳謝文を朗読するよう坪井議員に命じましたが、「道理の通らない陳謝文を読む意思はない」と懲罰の受け入れを拒否したため、「議決を受け入れなかったことを遺憾に思う。今後、議会の一員として地方自治法及び会議規則を遵守されるよう強く希望する」と議長が発言するに止まり、結果的に懲罰は実施されませんでした。

美祢市議会解散に関する動議

平成26年第2回(6月)美祢市議会定例会本会議(平成26年6月27日(金)開催)において、「現在の美祢市議会は二代表制の適正な自律的機能が発揮できない状態でチェック機能不全に陥っている。自由闊達な議論ができる議会、開かれた議会を目指し、市民の負託に応えられる新しい議会を創る」ことを理由に、純政会(西岡晃会長)の5名から地方公共団体の議会の解散に関する特例法(昭和40年6月3日法律第百十八号)の規定により「美祢市議会解散に関する動議」が提出されました。

る動議」が提出されました。

30日(月)に本動議について審議が行われ、「自浄努力の兆候が見られない」「現在の議会構成では自由な討議など期待できない」といった賛成意見や「解散は市民に対して大義がない」「解散ではなく、特別委員会を設置して議会運営を見直し、議員定数も検討するべき」などの反対意見が出ました。

議長を含む18名(欠席1)による表決の結果、賛成少数で本動議は否決されました。

議会改革推進特別委員会の設置について

平成26年7月15日(火)に開催された第3回臨時会において、本特別委員会を設置しました。

この特別委員会は、議長を除く全ての議員で構成され、(1)議会改革の推進に関する事項、(2)議員定数の適正化に関する事項について審査するため設置したもので、議会運営の改善な

ども含め、議論することになります。

なお、本特別委員会は二つの審査事項について、議論をより深めることを目的に、分科会を設置しました。今後、一年間を目途に審査していくこととしています。



7月26日から市内3カ所にて供用開始



平成26年第3回(9月)定例会は、右表のように予定しています。

市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。

正式な日程は、8月25日(月)に開催予定の議会運営委員会で決定しています。

日程	時間	内容(予定)
9月 1日(月)	10:00	本会議(初日)
9月 2日(火)	10:00	本会議(一般質問)
9月 3日(水)	10:00	本会議(一般質問)
9月 4日(木)	9:30	常任委員会
9月 5日(金)	9:30	常任委員会
9月10日(水)	9:30	常任委員会
9月11日(木)	9:30	議会改革推進特別委員会
9月22日(月)	10:00	本会議(最終日)

なお、平成25年度決算について審査するため、本会議最終日に決算審査特別委員会を設置し、会期を9月30日(火)まで延長する予定です。

編集後記

6月議会から、編集委員に異動があり、右のとおりとなりましたのでお知らせします。

平成26年度は、重点事業としてⅠ安全・安心の確保Ⅱ観光交流の促進Ⅲ産業の振興Ⅳひとの育成Ⅴ行財政運営の強化を柱として掲げ、更に①六次産業の創出②ジオパーク活動の推進③国際交流の推進をトリプルエンジンプログラムとして各種事業が展開されています。我々編集委員も市民の皆様によりわかりやすい議会だよりの編集に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。(萬代)

議会だよりの編集委員会

委員長	萬代 泰生
副委員長	猶野 智和
委員	山中 佳子
委員	三好 睦子
委員	岡山 隆
委員	俵 薫



美祿市議会事務局

〒759-2292 美祿市大嶺町東分326-1

TEL.0837-52-1117 FAX.0837-52-1180

美祿市ホームページ <http://www2.city.mine.lg.jp/>